

北海道議會時報

第 13 卷 第 2 号

昭 和 36 年 2 月



北海道議會事務局

— 第 2 号 目 次 —

議会の動き

常任委員会……………一

特別委員会……………一七

総合開発調査特別委員会

会合

全国都道府県議会議長会……………一八

資料

第四回定例道議会の議決を経た条例の公布調べ……………二〇

雑 録

請願書・陳情書の提出要領……………三

大臣・次官一覧……………三

衆参正副議長・常任委員長一覧……………三

政党主要幹部一覧……………三

一月のメモ

表紙写真

— ス キ —

北海道議会事務局撮影



常任委員会

総務委員会

○一月六日 午前十一時五十五分、第一委員室において開議、午後一時
二十二分散会、委員長 沖野政雄（自民）

一般議事

① 委員長より、先の委員会において佐野（社）橋本（清）（社）委員より要求のあつた資料の提出があつた旨を述べ、ついで総務部長より、昭和三十六年度道開発予算の内示概要及び真駒内団地下水道条例案について説明を聴取の後、

津川委員（社）より、公共事業費の地元一割負担の問題について東京事務所はこれを察知できなかったか、本道開発を左右する大問題を黙つてみているのか、あらゆる手をうつて事前に察知し知事、部長に報告すべきである。また同問題に対する今後の対処方針及び

自信はどうか、町村、団体の負担はどうなっているか、

佐野委員（社）より、本道が未開発地域開発法の適用外になつた場合の財政上の影響と対策、公共事業費の地元一割負担問題に関し地方財政法第三十五条と開発法の関連はどうなるか、また明年度の予算編成方針が変つてこないか、

橋本（清）委員（社）より、北方地域居住者等特別見舞金の内示経過と見通し、北方地域とはどこを指すのか、専用漁業権はどこのか、中部、北千島は入るか、島民の数、専用漁業権者の島外、島内の区別はどうなっているか、また入会漁業に関係した人はどうなっているか、見舞金配分の方法と算定の基礎、

井野委員（社）より、公共事業費の地元一割負担の問題に関する今後の具体的運動方法とこれに対する基本方針、復活のポイントはどこにあるか、国会議員はバツクアツプしてくれるのか、また議会に協力を求められる用意はあるのか、自民、社会両党の道選出国会議員団にどのような協力態勢をとられるのか

等についてそれぞれ質疑、総務部長より答弁。
② 委員長より、中央折衝の第二班について諮り、異議なく委員長一任と決定、請願、陳情の審査については次回委員会で行なうことに決定。

○一月二十八日 午前十一時三十三分、第一委員室において開議、午前

十一時五十五分散会、委員長 沖野政雄（自民）

請願、陳情の審査

陳情

第一八五号 地方公務員退職年金制度改正に伴う第一次試案に対し反対の件

第三七七号 札幌市内における交通信号機設置の件（採択）

第四四二号 千島、色丹齒舞諸島の返還安全操業の確保及び千島

等引揚者援護対策要望の件 (採 択)

第五五二号 岩見沢警察署管内栗沢町字上幌所在茂世反巡查駐在所早期改築の件 (採 択)

第五五一号 道庁内に北海道友会事務所設置の件 (取下げ)

議事に入るに先立ち新任の道警本部警務課長、警備第一課長より挨拶があつた。

一般 議 事

① 委員長より、先に行なつた地方公務員の退職年金に関する中央折衝の経過報告についてはほとんど全員が参加しているのでこれを省略する旨を述べ、異議なくそのことに決定。

② 新道路交通法に関し、

井野委員(社)より、本道のような狭い道路で特に降雪期においては追越し規定が実情に合わないのではないか、何か降雪期における規定が必要ではないか

について質疑及び意見があり、交通課長より答弁。

③ 明後三十日午前十時より委員会を開くことに決定。

○二月三十日 午後一時三十五分、第一委員室において開議、午後三時

散会、委員長 沖野政雄(自民)

一般 議 事

① 総務部長より、道開発事業の総枠及び地方負担額の内容について説明を聴取の後、

井口委員(社)より、過日中央で総務部長会議があり各省の予算説明があつたと聞いているが単に各省の数字の説明だけに終つたのか、公共事業費の地元一割負担について無条件で撤回になつたといつてゐるが大蔵省は無条件に認めていないと思うがこの点どのように考へてゐるか、地方財政計画がはつきりした頃再度委員会を開きあわせてそれに関係する資料を提出されたい、

津川委員(社)より、後進地域の問題が中央で論ぜられているが道はどの辺に位するののか、知事は大減税については調査研究中だといつてゐるがその内容について検討した結果を委員会に提示すべきでないか、

佐野委員(社)より、公共事業費の地元一割負担問題は今年だけ撤回したのか、後進地域の問題は重要であるから自治省の出方をまつといふのでなくもつと積極的に論議をする必要がある、これらについて検討のため資料を提出されたい、交付税の単位費用改正の話はその後どのようになつたか、三十五年度交付税は概算となつてゐるが三十六年度の交付税にその精算分が加わるのか、固定資産税の引き下げに関連して大蔵省、自治者は引き下げた分については普通交付税で措置するようにしたいといつてゐるが知事のいう減税とは違ふと考へるがこの点どうか、

井野委員(社)より、知事は所得税の軽減を行なうが地方税は考へていないといつてゐるがそれは北海道減税とは異種のものでないか、原始産業しかない伊達、白老町は大企業を誘致して固定資産税は十年間とれず交付税が減額されることになる更に登別はPSコンクリートがありこの三町は人口は同じ位であるが財政状態において相当の違いがあるこのような問題について今後どのように解決されようとするのか、伊達と白老町の財政上の実態及び救済対策について資料を提出されたい

こと等についてそれぞれ質疑及び資料要求があり、総務部長より答弁。

② 委員長より、前回の委員会に提出された真駒内団地の下水道使用料問題について諮り、

佐野委員(社)より、真駒内団地の分譲については二月に成案を作り五、六月頃に分譲すると聞いているが本委員会に諮つてやるようにされたい、

天谷委員（協）より、下水道の問題は次回委員会まで検討して詳細な説明をしてもらつてはどうか

について意見があり、異議なく天谷委員の意見のとおりすること
に決定。

③ 北方見舞金の問題に関し

佐野委員（社）より、水産委員会の討議を聞くとかなり違つた方向が考えられているようにみえるのでこれが検討のため水産委員会の記録を提示願うよう委員長において取計われたい、

天谷委員（協）より、道の調査計画について資料を提出されたい
ことについて意見及び資料要求があり、委員長より応答。

④ 次回委員会は総務部長と相談の上適當の時期に開くことに決定。

厚生委員会

○二月二十四日 午後二時三十五分、第三委員室において開議、午後三

時十五分散会、委員長 福島新太郎（自民）

開議に先だち後藤民生部長より退任の挨拶があつた。

一般議事

① 委員長より、昭和三十六年度厚生関係予算折衝の経過について報告があり、異議なくこれを了承。

② 昭和三十六年度厚生関係予算折衝の経過について衛生部長、社会課長より説明を聴取の後、

千葉（軍）委員（自民）より、北海道不良環境地区対策費の内容はどのようなものか、開拓地に設置された母子ホームは母子世帯のほか附近の人や男も利用しているのか、今後施設を作る場合このこと

を考えに入れて計画してもらいたい、同和事業費を対象地区に一部負担させるのは困難ではないか、

太田委員（社）より、不良環境地区対策費の二分の一国庫補助は確定しているか、都市スラム予算には北海道分も含まれているか、同和対策事業費の一部地元負担を道費でまかなうよう努力すべきでないか、

中野委員（社）より、本年はアイヌ同和対策を重点的に考えるべきでないか、また道も国と同額補助を行なうべきでないか、生産性の低い地元負担させるのは矛盾があるのではないか、不良環境地区対策事業実施の序列は決まっているか、国民休暇村の内容はどうか、

渡辺委員（社）より、不良環境地区対策事業費の一部地元負担は問題があるのではないか、国民休暇村設置費の内容はどうか、国民休暇村の問題は民生部所管に入れるのが適當でないか、

竹村委員（自民）より、不良環境地区対策の事業計画はできているか、

水島委員（社）より、不良環境地区対策事業費による施設の設置は地区の財政事情より必要性に重点をおいて考えてもらいたい
こと等について質疑意見及び要望があり、副委員長より応答、社会課長より答弁。

③ 本日聴取した陳情は次のとおり。

社会福祉協議会に対する道費助成の件

北海道社会福祉協議会副会長

商工労働委員会

○一月二十四日

午後一時三十二分、各派交渉室において開議、午後二時五十四分散会、委員長 大久保和男（自民）

一般議事

① 商工部、労働部関係国費予算折衝の経過について労働部長及び商工部長より説明を聴取の後、

宮沢委員（社）より、職業訓練所関係予算についての詳細はいつ頃わかるか、資料を早急に出示してもらいたい、

千葉（大）委員（社）より、部長説明で不十分なところについての資料提出方、金山ダム問題について南富良野村長を呼んで副知事、開発局長等から予算の内容を聴取し、地元民の不安を解消するよう委員会で措置してもらいたい、

森川委員（社）より、金山ダム建設費予算一億円は工事費か補償費か、金山ダム建設に対する大蔵省の考えはどうか、

村本委員（社）より、開発庁は大蔵省との予算折衝で工事費と補償費のどちらに重点をおいたか、農業基盤強化の問題と関連してダム建設は食糧増産に重点をおいていくのか、電気事業については商工部の方針に変わりはないか、金山ダム建設は来年度から本格的予算がつくか、九億円の予算要求が大臣折衝で一億円になった経過はどうなっているか、委員長は最終決定まで折衝を行なうべきではなかったか、最初の大蔵省査定が零であった理由は何か、今回の中央折衝の効果は何もなかったのではないか、

高田委員（社）より、金山ダム建設費が一億に決定した後の現地の状況調査を行なっているか、補償解決の見通しはどうか
について質疑、意見並びに要望があり委員長より応答、商工部長

より答弁。午後零時二十三分一旦休憩後、午後一時五十八分再開、

高田委員（社）より、一億円の内容について今日中にわからないか、失対労働者の石炭手当支給問題に関しその算定方式はどうなっているか、

千葉（大）委員（社）より、金山ダム問題については事態が複雑になつていたので早急に委員会に地元側を呼んで事情聴取及び折衝経過の説明を行なってもらいたい、一億円の内容については副知事の説明を聴取したい、

村本委員（社）より、食糧増産方針の変更にともない大蔵省は金山ダム建設をどのように考えているか、当初計画どおり建設されるのか、来年度以降のことについて政府当局と話し合つたか、

宮沢委員（社）より、現地の不安解消のためにも早急に委員会を開いて現地の状況を聴取したい、また労働部長の失対関係報告に關連して、労力費単価アップの中の一円は総棒の中から道にくるのか、失対労働者数が減少しているがこれには炭鉱離職者も含まれているのか

等について質疑、意見並びに要望があり、委員長より応答、商工部長、労働部長より答弁の後、

委員長より、金山ダム問題について副知事の出席を得て明日委員会を開くことについて諮り、異議なくそのことに決定。

○一月二十五日

午前十一時五分、各派交渉室において開議、午後一時四十七分散会、委員長 大久保和男（自民）

請願、陳情の審査

請願

第三三七号 北海道ディゼル機械興業株式会社に対し出資の件

（保留）

第四〇二号 千歳市の北海道空港ターミナルビル建設に対し出資の件 (保留)

第四〇六号 千歳市に職業訓練所分室設置の件 (採択)

陳情

第五七二号 砂利採取事業に対し中小企業振興助成法適用の件 (採択)

第五七三号 中小企業振興対策樹立の件 (採択)

第五七九号 北海道探鉱奨励制度創設の件 (採択)

第五八二号 沿岸地帯に職業訓練所増設の件 (採択)

第五八三号 釧路産業会館増改築費に対し助成の件 (採択)

第五八四号 商工会法適用による本道零細企業の体質改善事業推進の件 (採択)

一般議事

① 金山ダム建設問題に関し

千葉(大)委員(社)より、金山ダム建設費が第一次大蔵省査定で零となった理由は何か、開発局長は一億円は補償費にまわしたいといつており開発庁長官は副知事も出席した座談会で、たとえ一億円でも事業費に違いないといっているがその真意をどう考えるか、副知事談話で農業態勢の改善について考えねばならないという意味の発言があつたが金山ダム問題と関連してその趣旨はどういうことか、本年度予算が一億円ということと計画どおり工事を行なうことができるか、開発局長は一億円の範囲内で補償すればそれで責任を果したことになるが不足分は道費で充足しないと治安維持が保たれないと考えるがどうか、

高田委員(社)より、副知事が大蔵省の零査定及び一億円査定の理由を聞いていないのはおかしいのではないか、折衝の仕方に問題があるのではないか、

森川委員(社)より、本年度予算一億円で四十一年度完成の計画

に自信があるか、一億円で支障なく補償のスタートができるか、大蔵省はダム建設を軌道にのせる意向があるか、今後この計画達成のため知事に積極的な運動を行なつてもらいたい、

村本委員(社)より、大蔵省は全国的な視野から開田を抑制するという基本的考え方に基づいて金山ダムについても零査定したというけとつてよいか、一億円は食糧の飛躍的増産の建前で認められたのか、予算要求額九億円の内訳はどうなっているか、補償について本年度の不足分はどう措置するか、開発庁は大蔵省との折衝段階でダムの経済効果を農業関係に五五%のウェイトを置いていたのを三八%に引き下げた理由及び金山ダムの経済効果に関する資料の提出方等について質疑、意見並びに要望があり、委員長より応答、副知事、商工部長より答弁。

② 委員長より、次回委員会は二月四日に開くことについて諮り、異議なくそのことに決定。

農務委員会

〇一月二十一日 午前十一時五十八分、第一委員室において開議、午後

零時三十三分散会、委員長 二瓶栄吾(協)

請願、陳情の審査

委員長より、付託請願、陳情の審査についてはなお精査を要するものとし継続審査とすることについて諮り、異議なくそのことに決定。

一般議事

① 委員長より、昭和三十六年度農林省関係予算の中央折衝経過及び

建設委員会

○二月二十六日

午後一時四十分、第一委員室において開議、午後三時散会、委員長 伊藤 弘（自民）

請願、陳情の審査

請願

第三八一号 積丹町に低家賃公営住宅建設の件

（採 択）

陳情

第五五六号 黒松内に低家賃住宅建設施行の件

（採 択）

第五七七号 宅地開発に要する土地取得造成資金に関する件

（採 択）

一般議事

① 委員長より、昭和三十六年度建設関係国費予算の中央折衝の経過

について配付の報告書のとおり了承願いたい旨を述べ、ついで最終決定額の内容等について理事者の説明を求め、土木部長より、「開発公共事業関係資料」について、建築部長より、「昭和三十六年度公営住宅建設費積算資料」についてそれぞれ説明を聴取、暫時休憩の後、午後二時五分再開。

② 坂下委員（社）より、今回の予算折衝については超党派をもつて

これにあたるはづであつたのに実態はそうではない、また自民党道連を通じて道選出国會議員連盟の設置について申し入れを行なつたのに対し、これを蹴つたことは遺憾である、この打開策を考えずに今後中央折衝を続けてもよいのか、これに対する委員長の見解はどうか、また自民党道選出国會議員のとつた態度を委員長は正しいと考えているか、党に対しこのような姿を反省するよう呼びかけの活動を行なつたのかどうか、本問題について明日更に質したい

結果について審議する旨を述べた後本件については過般三班にわたり委員の上京を願ひ道側とともに予算獲得に努力を願つたが、第一次、第二次内示及び復活要求内容についてはすでに了承と思われるので最終内示の結果について理事者側より報告を求めることにしてはどうかと諮り、異議なくそのことに決定の後、農務部長より、昭和三十六年度農林省予算大藏省内示概要について説明を聴取、

石畑委員（自民）より、貿易自由化に伴う国産大豆保護対策費三十億円はどのように使われるのか、価格保証のため使われるのかどうか、

笠井委員（社）より、自創資金の条件緩和問題に関し、農林省は踏み切つていないようであるが道の要請に応えようとする動きがあるのか、自創資金百六十億円の中で道に対し充分配分される見通しがあるのかどうか、農業経営近代化資金について保証協会を作り、国四分の一、道四分の一、団体四分の二をそれぞれ負担するが団体とはどのようなものを農林省は意図しているのか

等について質疑及び要望があり、農務部長より答弁。

② 渡部委員（社）より、ビート生産計画に基づく工場設置問題について知事、副知事、農務部長の見解及び農業機械の払下げ問題について管財課長の見解をそれぞれ質疑したいので次期委員会において出席方手配願いたい、なお次期委員会を道側の都合のよい期日に招集されたいことについて要望があつた。

③ 本日聴取した陳情は次のとおり。

斜里町丸山地区に道立馬鈴しよ原種農場設置について

斜 里 町 長

③ ことについて質疑があり、委員長より応答。
明日午前十時より委員会を開くこととした。

○一月二十七日 午前十一時四十六分、第一委員室において開議、午後

三時一分散会、委員長 伊藤 弘（自民）

一般議事

坂下委員（社）より、明年度開発予算折衝に関連して、社会党道選出国会議員から自民党道選を通じて超党派折衝体制を申し入れたのに対し自民党道選出国会議員がこれを断わつたことに關し、委員長は今後どのような方針のもとに対処して行く考えか

について質疑があり、委員長より応答の後、

奈良委員（自民）より、議事進行の発言を求め本委員会としては付託案件を先に審議すべきものである、坂下委員（社）はあとの位い時間を費す考えかについて質疑があり、坂下委員（社）より応答、ついで

荒委員（社）より、本問題に対する経緯について説明を聴取の後、坂下委員（社）より、この問題について委員長は対処方法等を考えていたのかどうか及び自民党道選出国会議員のとつた態度をどう考えるか、自民党道選と政府与党とは別な政治団体であるのか

について質疑があり、午後零時三十五分、一旦休憩、午後二時二十七分再開、

委員長より、休憩前の坂下委員（社）の質疑に対し応答、

竹内委員（社）より、本問題について委員長は党幹部と相談協議の上対処すべきものと考えてるので時間の猶予をおいて検討することにしてはどうか、

奥野委員（自民）より、本委員会としてはまず付託案件の中に急を要するものもあり、また目下予算編成期でもあるので明日さらに委員会を開きこれらの審議を行なわれない

こと等議事進行の発言があり、委員長より、明二十八日午前十時より請願、陳情審査のため委員会を開会すること及び坂下委員（社）の質疑の件については来月の十日前に委員会を開会することについて諮り、異議なくそのことに決定。

○一月二十八日 午前十一時十六分、第三委員室において開議、午後零

時十一分散会、委員長 伊藤 弘（自民）

請願、陳情の審査

請願

第一二〇号 村道榑原落石間道路を道道に昇格の件 （不採択）

第一二二号 浜中村村道貫入風連間道路を道道に昇格の件 （不採択）

第一二二号 剣淵村下川町間町村道を道道に認定の件 （保留）

第一七九号 木糖工場操業に伴う工場廃液浄化措置の件 （保留）

第一九四号 新得足寄間鉄道新設促進要望の件 （保留）

第一九七号 岩内町地内道道岩内港線より壁坂下通を経て二級国道小樽江差線に至る町道を道道に認定の件 （保留）

第二〇二号 島牧村地内大平川を道費準用河川に認定の件 （採択）

第二一六号 置戸町地内普通河川オンネアンズ川を道費河川に認定の件 （採択）

第二二六号 三石町地内町費河川咲梅川を道費河川に認定の件 （保留）

第二三六号 美瑛町地内美瑛駅前丸山通りを道道に昇格の件 （不採択）

第二三八号	士別紋別間道路を国道に認定要望の件	(不採択)	第二七八号	愛別村地内村道本町協和線上伏古橋架換の件	(採択)
第二四二号	美幌町地内町道日並線を道道に昇格の件	(不採択)	第二七九号	村道朝日村愛別村間道路を道道に認定の件	(採択)
第二四三号	美幌町地内町道四基線を道道に昇格の件	(不採択)	第二八〇号	道道北母子里美深線幌加内母子里より道道添牛内風連線に接続する区間を道道認定の件	(不採択)
第二四四号	古平町地内冷水川を準用河川に認定の件	(保留)	第二八一号	和寒町地内町道七号線を道道に認定の件	(不採択)
第二四五号	町村道美幌端野間を道道に昇格の件	(採択)	第二八二号	和寒町地内道道旭川和寒線及び道道幌加内和寒線道路の舗装工事施行の件	(採択)
第二四九号	道道根室半島線(オホーツク海側)整備工事実施の件	(採択)	第二八三号	道道雨竜旭川線道路改良工事促進の件	(採択)
第二五三号	根室市落石厚床間道路新設の件	(保留)	第二八四号	和寒町地内町費河川辺乙部川を道費河川に認定の件	(採択)
第二六一号	平取町地内町費河川仁世字川及び貫気別川を準用河川に認定並びに工事施行の件	(採択)	第二八五号	当麻町地内町道費河川牛朱別川河川改修工事促進の件	(採択)
第二六四号	釧路村地内道費河川チヨロベツ川はん濫防止工事施行の件	(保留)	第二八六号	当麻町地内牛朱別川中町費河川区間を道費河川に認定の件	(採択)
第二六七号	秩父別町地内町道秩父別停車場線を道道に昇格の件	(採択)	第二八七号	道道当麻停車場線整備工事施行の件	(保留)
第二七一号	幌加内町地内町道幌加内停車場線を道道に認定の件	(採択)	第二八八号	当麻町地内道道比布当麻東川線の舗装工事施行の件	(採択)
第二七二号	下川町地内町道ベンケ線を道道に認定の件	(採択)	第二八九号	山部村地内準用河川ユーフレ川改修工事施行の件	(採択)
第二七三号	下川町地内準用河川サンル川治水工事継続実施の件	(採択)	第二九〇号	中川村佐久停車場ビラウトル線及び幌延村間寒別停車場甲線を道道に認定の件	(採択)
第二七四号	下川町地内道道下川風連線改良工事施行の件	(採択)	第二九一号	山部村地内十四線川を道費河川に認定の件	(保留)
第二七五号	道道下川駅前二十四号線舗装工事施行の件	(採択)	第二九二号	道道吹上上富良野線砂利補修並びに局部改良工事施行の件	(採択)
第二七六号	道道比布愛別停車場線を積寒法路線として認定の件	(採択)	第二九三号	中川村地内道道板谷佐久停車場線の改良補修工事施行の件	(採択)
第二七七号	道道比布愛別停車場線中愛別市街地舗装工事施行の件	(採択)			

第二九四号	中川村地内アベシナイ川架設橋梁の架換 (永久橋)及び補修工事施行の件	(採 択)
第二九五号	中川村地内秋田川字戸内川を道費河川に認定の件	(採 択)
第二九六号	中川村地内道費河川アベシナイ川改修工事施行の件	(保 留)
第二九七号	十勝岳産業開発道路開さくの件	(採 択)
第二九八号	道道上富良野停車場線及び吹上線の舗装工事施行の件	(保 留)
第二九九号	上富良野町地内町道東二条道路を道道に認定の件	(採 択)
第三〇一号	東旭川町地内道道瑞穂旭川停車場線道路舗装及び市員拡張工事施行の件	(保 留)
第三〇二号	道道雨竜旭川線改良工事施行の件	(採 択)
第三〇三号	道道和寒旭川線の積寒法による改良工事施行の件	(採 択)
第三〇四号	鷹栖村地内町費河川ハイシユベツ川を道費河川に認定の件	(採 択)
第三〇五号	東川町地内道道松山美瑛線延長認定の件 (不採択)	(保 留)
第三〇六号	美瑛東川両町所在道道旭川大雪山層雲峽線並びに道道松山美瑛線改良工事施行の件	(採 択)
第三〇七号	道道旭川大雪山層雲峽線中東川市街地内舗装工事施行の件	(採 択)
第三〇八号	道道松山美瑛線を冬期除雪道路として指定の件	(採 択)
第三〇九号	道道旭川大雪山層雲峽線中架設橋梁整備の件	(採 択)
第三一〇号	東川町道西四号線架設神明橋架換に対し補助の件	(保 留)
第三一一号	東川町地内サルン倉沼川を道費河川に認定の件	(保 留)
第三一二号	東川町地内道費河川倉沼川改修工事施行の件	(保 留)
第三一三号	町村道と寒剣淵間道路を道道に昇格の件 (不採択)	(採 択)
第三一四号	道道上士別剣淵停車場線道路舗装工事施行の件	(採 択)
第三一五号	剣淵村地内剣淵川改修工事施行の件	(採 択)
第三一六号	剣淵村地内犬牛別川局部改修工事早期完了施行の件	(採 択)
第三一七号	道道朝日士別線中朝日村市街地の舗装工事施行の件	(採 択)
第三一八号	朝日村地内ペンケマカナンプ川を道費河川に認定の件	(採 択)
第三一九号	道道朝日士別線中朝日村似峽士別市間道路かく巾工事施行及び維持補修費増額の件	(採 択)
第三二〇号	道道朝日士別線中朝日村登和里似峽間の冬期間除雪施行の件	(採 択)
第三二一号	美深町地内道道美深停車場線舗装工事施行の件	(採 択)
第三二二号	美深町地内町道紋穂内停車場線を道道に認定の件	(保 留)
第三二三号	美深町地内四町費河川を道費河川に認定の件	(保 留)
第三二四号	大江村村道然別線を道道に昇格の件	(採 択)
第三二五号	道道紋別上川線中紋別市渚滑町市街地道路舗装の件	(採 択)

第三二六号 (採 択) 紋別市地内市道上渚滑市街停車場通り線を道道昇格及び舗装工事施行の件

第三二七号 (採 択) 浦臼町地内晩生内川を道費河川に昇格の件

第三三一号 (採 択) 中頓別町地内町道小頓別駅前線を道道に認定の件

第三三二号 (採 択) 中頓別町地内町道中頓別駅前線を道道に認定の件

第三三三号 (採 択) 町村道幕別町字糠内、豊頃村字ノヤウシ間道路を道道に認定の件

第三三四号 (採 択) 天候不順及び集中豪雨による罹災の救農対策要望の件

第三三八号 (採 択) 道道東山富良野停車場線道路整備促進の件

第三三九号 (採 択) 富良野町地内空知川治水工事未施行区間早期完成の件

第三四一号 (採 択) 富良野町地内富良野川治水工事施行の件

第三四五号 (採 択) 富良野町地内町道東五条線空知川に架設の東五条大橋を永久橋に架換の件

第三四六号 (保 留) 雄武町地内当沸川を準用河川に昇格の件

第三四七号 (採 択) 町道雄武港線を道道に昇格の件

第三四八号 (採 択) 道道大江小樽線補修工事施行の件

第三四九号 (採 択) 道道大江小樽線の冬期交通確保に関する件

第三五〇号 (採 択) 道道赤井川余市線の改修工事施行の件

第三五一号 (採 択) 道費河川赤井川河川切替による堤防敷地設定及び旧敷地処分

第三六〇号 鷹栖村十線十二号を起点とし比布村北二線七号に至る村道近文街道を道道に認定の件 (保 留)

第三六一号 (保 留) 紋別市地内道道名寄紋別港線の一部路線変更の件

第三六四号 (保 留) 道道寿都停車場線の延長並びに舗装工事施行の件

第三六五号 (採 択) 別海村地内村道別海、西別線を道道に認定の件

第三六六号 (保 留) 別海村地内村道茶内、西春別線を道道に認定の件

第三六七号 (保 留) 別海村地内村道西別浜中線を道道に認定の件

第三六八号 (保 留) 別海村地内村道西春別尾沼沼港線を道道に認定の件

第三六九号 (採 択) 中登別、俱多楽湖、登別温泉間循環観光道路を道道に認定の件

第三七六号 (保 留) 寿都町地内町道湧別停車場線を道道に認定の件

第三八二号 (採 択) 道道士別沼田線竜水橋を永久橋に架換の件

第三八七号 (保 留) 沼田町及び北竜村地内町村道梅の沢線及び奥美葉牛一線を道道に認定の件

第三八八号 (保 留) 道道昭和恵比島停車場線中浅野市街地側溝工事施行の件

第三九八号 (保 留) 道道神恵内、入舸、古平線中小樽茶屋野塚間道路改修及び橋梁補修工事実施の件

陳 情

第二五七号 滝川赤平砂川歌志内間道路を道道に認定の件

第四八三号 名寄市地内道費河川チエプト川改修工事施行の件 (採 択)

第四八四号 名寄市地内市道初茶志内道路架設名寄橋永久橋架換工事に対し国庫補助の件 (議決不要)

第四八五号 函館港貯木場の早期構築に関する件 (採 択)

第四八六号 東鷹栖村地内村道十六号線改良工事について道費助成の件 (採 択)

第五〇六号 積丹町地内町道美国港線を道道に昇格の件 (採 択)

第五一二号 ビート糖工場の廃液処理施設完備の件 (採 択)

第五一六号 金山ダム建設に伴う道路等の整備に関する要望の件 (採 択)

第五二〇号 道道函館亀田線道路延長の件 (採 択)

第五二二号 阿寒町地内町道四十一線道路に架設の橋梁新設工事に對する助成の件 (採 択)

第五二五号 町道七飯大野上磯線道路工事に對し国庫補助の件 (採 択)

第五二六号 道道俱知安ニセコ線全線開通実現の件 (採 択)

第五三〇号 町村道広島停車場道道昇格の件 (採 択)

第五三一号 旭川市地内道道江丹別旭川停車場路線の改良舗装及び橋梁整備の件 (採 択)

第五四〇号 常盤村地内村道音威子府停車場線を道道に認定の件 (採 択)

第五四一号 常盤村地内村道幾島停車場線を道道に認定の件 (採 択)

第五四二号 国立公園有珠山に観光道路開さくの件 (採 択)

第五四三号 礼文町地区町道大備、東上泊間及び大備西上泊間を

一般 諸 事 道道に認定の件 (保 留)

齋藤(正)委員(社)より、石狩支庁管内の当別青山間冬期降雪について地元より一、二回程度でよいからブルドーザを通してほしい旨要請があるが道は何か考えているか、

委員長より、借り上げ措置でも考えられないか、奥野委員(自民)より、停車場線の道々昇格について陳情されているものの外全道的に調査しているのか、また本日審査した請願、陳情採択分の中で道道昇格関係の合計料程はどの位いか

等についてそれぞれ質疑及び要望があり、土木部長より答弁。

農地開拓委員会

〇一月二十四日 午後一時三十一分、第一委員室において開議、午後三時

五十分散会、委員長 堀田 毅(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第一七五号 八雲町字山崎花浦地区八木農場開放の件 (保 留)

陳 情

第三五八号 幌延開拓農業協同組合の電気導入にかかる負債に對し助成の件 (保 留)

第四七四号 津別町における農地開発事業推進のための道有林地調査の件 (保 留)

第五〇七号 ブラジル移民の積極的推進要望の件 (保 留)

第五一九号 石狩町志美地区かんばい事業収拾対策の件（保留）
第五七五号 胆振管内の土地改良事業に対し予算増額の件（保留）

一般議事

① 委員長より、昭和三十六年度農地開拓部関係国費予算に関する中央折衝の経過については省略し最終内示について理事者より説明を聴取することについて諮り、異議なくそのことに決定の後、農地開拓部長、土地改良課長より説明を聴取の後、

清水委員（社）より、国費補助率の引き上げがあつたからこの分の道費上置きをしなくともよいという考え方で三十六年度道予算を編成されては困る、また補助率の引き上げを新規着工からとなると一年早く事業を始めたために一〇％の差がでてくることになるがこれのバランスをとる考えはあるか、

道下委員（社）より、昭和三十六年度開拓部予算は国の補助に上置きすると総額いくらになるのか、

尾崎委員（自民）より、農民の負担はどの位が妥当か、七〇％が適正だと考えているのか、

山田委員（社）より、道営土地改良事業補助率についてどのような考えているか、道は上置きを考慮しているというがその考え方を明示してはどうか、

橋本（正）委員（社）より、学校増築分の補助率が引下げられたが屋体についてはどうなるか

等について質疑及び要望があり、農地開拓部長、農地開拓部次長、開拓経営課長より答弁。

② 委員長より、農業基本問題に関する説明を聴取することになつて

いるが関係者不在のため早い機会に行ないたい旨を述べた後、山田委員（社）より、農家負債の数字について道と農林省との調査の差異を説明されたい、三十六年度予算に関し、事前に予算要求

を見せるようにするという新聞報道について委員長はどのように考えているか、

清水委員（社）より、昭和三十六年度道予算はどれを重点に折衝しているか、農開協の統合問題はその後どうなつていくのか

について質疑及び要望があり、委員長、大石小委員長（社）より
応答、農地開拓部長より答弁。

水産委員会

〇一月二十七日

午後二時三十分、第三委員会において開議、午後四時散会、委員長 麻里悌三（自民）

一般議事

① 中型機船底曳網漁船による宗谷管内たこ空釣なわ漁業被害補償並びに安全操業確保の問題に関し

川村委員（社）より、この問題は口頭陳情があつたばかりでまだ委員会に付託されていないが、この取扱いをどのようにするのか

について質疑があり、委員長及び各委員から意見交換がなされ一般議事として先議することとし、本問題に対する理事者の説明を求め、水産部長より説明を聴取の後、

秋山委員（協）より、調停の見通しはどうか、

川村委員（社）より、十月から十二月二十日まで禁止区域外五カイリのとこ漁業の操業を底曳側も了解しているが、この期間内で協定を破つた底曳船に違法はないか、また損害賠償に関する調停の状況はどうか、協定期間内に違反した底曳業者にも道義的責任があるか、損害について水産部として適当な調査方法はないか、底曳船が

自由漁場で操業している時の違反は刑事問題となるのではないかと、補償については金額の算定基礎を明らかにし早期に解決してもらいたい、

大島(仁)委員(社)より、たこ漁業者の補償問題について道としてその被害の調査を行なったか、漁業調整規則に定める処分の範囲を軽くみる向きがあるので将来改正する考えはないか、この事件と関連して共同漁業権と禁止区域を拡大する考えはないか、

榎委員(社)より、安全操業に関する協定を守るための道の基本点はどこにあるか、

中松委員(自民)より、損害賠償について見舞金として出すなら話はつくが補償ということのために難航しているというのか、今後は調整規則等も考慮すべきでないか、

窪田委員(社)より、道では底曳業者に賠償として話をしたのか、また底曳業者はこれを了承したか、部長はこの問題解決に消極的ではないか、

委員長より、この問題について宗谷支庁長と稚内漁業組合長と話をしているというがどうか、この事件で被害漁民と組合が現実には困窮しているものであるから部長は底曳側に強く交渉して問題解決にあたり、更に事故防止の委員会が発足しているのだから調停書に基づき今後の安全操業の確保に努力してもらいたい

こと等について質疑、意見及び要望があり、水産部長、漁業調整課長より答弁。

② 委員長より、第五回日ソ漁業委員会に対する「北洋サケ・マス漁業に関する要望並びに同委員の日本側代表団に本道漁業関係者を任命又は委嘱することについての要望意見書」に関する中央折衝の経過について報告があり異議なくこれを了承。

③ 昭和三十六年度水産関係予算の中央折衝の経過について水産部長より説明を聴取の後、

西野委員(自民)より、北方地域見舞金問題に関し、対象者は漁業者だけではないと思うがその使途をどう考えているか、十七億円の要求が十三億円になったがその差額はどうか、配分の方法及びこれらに対する政府の考えはどうか

④ 等について質疑及び意見があり、水産部長より答弁。
本日聴取した陳情は次のとおり。

中型機船底曳網漁船による宗谷管内たこ空釣縄漁業被害補償並びに安全操業確保について

宗谷管内漁業協同組合会長
同 蛸空釣縄漁業連合会長

文教林務委員会

○一月二十五日

午前十一時二十五分、第三委員室において開議、午後三時五十五分散会、委員長事故のため副委員長 山元ミヨ(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第三五四号 農家林の造成及び農家委託苗圃設置に対し助成の件

第三六二号 利尻礼文道立自然公園を国定公園に昇格要望の件

第三九一号 野付半島風連湖一帯を道立自然公園に指定の件

第三九三号 松前町地帯を道立自然公園に指定の件

(保留)
(保留)
(保留)

陳 情

第四六八号 木炭生産業に対する災害共済制度確立要望の件

(保留)

第五〇八号 福島町地内白符地区林道開さくの件

(採択)

一般議事

① 神部委員(自民)より、昭和三十六年度文教並びに林務関係予算の中央折衝経過について報告の後、異議なくこれを了承、ついで林務部長より、昭和三十六年度山林公共事業費予算の内容について説明を聴取の後、

池田(金)委員(協)より、防そ溝はどこにつけるものか、

堀委員(社)より、造林補助及び作業賃金の引き上げについて将来どのような考えをもっているか、

湯田委員(社)より、ソ連からの林業視察団来道の内容と受入れ状況、観光課設置に対するその後の経過、六月開催予定の国立公園大会に皇太子夫妻が来道されないと聞いているがどのようなことになっているか、冬期間におけるしいたけ栽培の方法

等について質疑、林務部長より答弁。

② 教育長より、昭和三十六年度文部省関係予算の内容について説明を聴取の後、

堀委員(社)より、配付の文部省関係予算の昭和三十五年度と三十六年度予算の比較増減資料中三十五年度は補正予算を含めた額であるか、国の最終補正と文教予算の関係はどうか、道の現年度予算に関係がないか、道の高校急増対策についてどのように考えているか、また三十六年度の工業高校設置に対する心構えはどうか、

湯田委員(社)より、高校急増対策で文部省のいう高校二百校新設は全然見込みがないか、それに伴って五カ年計画もだめになったのではないか

についてそれぞれ質疑、教育長より答弁。

③ 本日聴取した陳情は次のとおり。

(1) 函館市に道立工業高等学校設置について

函館市教育委員会委員長代理

(2) 帯広市に道立工業高等学校設置について

帯広市第一助役

(3) 美深町に道立工業高等学校設置について

美 深 町 長

(4) 北空知地域に道立青年の家設置について

北空知地域青年団体協議会委員長

〇一月二十六日

午前十一時三十七分、第三委員室において開議、午後三時三十分散会、委員長事故のため副委員長 山元ミ

ヨ(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第三七〇号 松前町に道立工業高等学校新設の件 (保留)

第三七三号 美深町に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第三七四号 幕別町に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第三七八号 北見市に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第三八〇号 湧別町に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第三八四号 留萌市に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第三八六号 名寄市に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第三九二号 士別市に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第三九七号 富良野町に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第三九九号 室蘭市に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第四〇四号 芦別市に道立工業高等学校設置の件 (保留)

第七号 市立芦別啓南高等学校道立移管の件 (保留)

第二〇五号 管理職手当改廃の件(外九件) (保留)

第二一二号	管理職手当撤廃に関する件（外三八件）	（保留）
第三七一号	町立南茅部漁業高等学校を道立移管の件	（保留）
第三七二号	道立月寒高等学校校舎増改築施行の件	（採択）
第三七七号	夕張工業高等学校道立移管の件	（保留）
第三七九号	道立釧路工業高等学校に建築科電子科設置の件	（採択）
第三八三号	北空知地域に道立青年の家設置の件	（採択）
第三八五号	道立函館商業高等学校学級増設に合わせ校舎改築の件	（保留）
第三九四号	留寿都中学校の完全給食に伴う準要保護生徒に対し助成の件	（採択）
第四〇一号	道立歌志内高等学校学級増設の件	（採択）
第三七四号	札幌市に公立高等学校増設の件	（保留）
第三三五号	札幌市に道立高等学校新設の件	（保留）
第五三三号	常盤村に道立音威子府工業高等学校設置の件	（保留）
第五六〇号	羽幌町に道立工業高等学校設置の件	（保留）
第五七四号	風連町に道立工業高等学校設置の件	（保留）
第五七六号	札幌市地区に道立工業高等学校設置の件	（保留）
第五八一号	紋別市に道立工業高等学校設置の件	（保留）
第二五三三号	市町村立定時制高等学校道立移管の件	（保留）
第五六七号	旭川市に道立青年の家設置の件	（採択）
第五三四号	道立盲ろう学校に高等部及び別科設置の件	（採択）
第五三五号	苫小牧市に道立養護学校新設要望の件	（保留）
第五四九号	道立小樽盲ろう学校校舎増築早期完成の件	（採択）
第五五五号	公立中学校教育に対し予算措置要望の件	（採択）
第五六一号	道立羽幌高等学校に学級増設の件	（保留）

陳 情

第五八五号 高等学校事務職員等定数増加の件（採択）
 第五八六号 道立高等学校事務職員等待遇改善の件（保留）
 第五八七号 高等学校需用費増額措置要望の件（採択）

一 般 議 事

① 昭和三十六年度文教予算に関し、堀委員（社）より、高校新設及び間口増の予算化はどうなっているか、

林委員（自民）より政府の高校新設予算との関連において一校だけでも当初予算に計上できないか、

勢田委員（自民）より、精薄児童の数及びその実態について充分調査されたい、

山下委員（社）より、通信教育協力校の先生に対する手当、旅費需用費の問題など知事に対する予算折衝をどのように考えているかについてそれぞれ質疑があり、教育長、学校教育課長より答弁。

② 山元副委員長より、道立移管高校の現地調査について諮り、異議なく配付の日程案のとおり行なうことに決定。

③ 本日聴取した陳情は次のとおり。

旭川市に道立青年の家設置について

旭 川 市 長

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○一月三十一日 午前十一時五十二分、第一委員室において開議、午後

五時三十五分散会、委員長事故のため副委員長 吉田
定次郎（自民）

① 吉田副委員長（自民）より、昭和三十六年度道開発予算に関する
中央折衝の経過について報告、ついで企画本部長より、開発予算の
内容について説明を聴取の後、

森川委員（社）より、金山ダム予算一億円の内容はどうか、また
予算要求の途中において政府ははじめ所得倍増計画に合わないとの
ことで査定が零になり最終段階でようやく一億円ついたがこれは政
府の倍増計画に沿うてやるのだと理解し三十七年度から本格的に予
算をつけ四十一年度に完成させる見通しをつけたのかどうか、経済
効果について初めは五〇％が食糧増産、残り五〇％が商工業関係と
なっていたが大蔵省で難色を示したため計画を変更し食増増産は三
〇％残り七〇％は工業振興ということに開発庁長官が検討するとい
うことで話がいがなされたと聞いているが事実かどうか、

笠井委員（社）より、二百戸近い補償該当者について一億円の金
をどのように配分する考えか、このうち三千万円を工事費とすると
残り七千万円をどのように配分するかゆゆしき社会問題である、

秋山委員（協）より、立退き料にも足りない予算でありどこかへ

行かねばならぬということになれば一刻をあらそう問題だ町村代表
が努力を払って協定したものをいつ補償費を払うかわからないとい
うことでは困るこの点どうするか早く決めてもらいたい、

荒委員（社）より、立退くことに決めて土地購入の契約をしてい
る者はどのくらいあるか、工事に着手するという見通しにたてば道
がこれらの者に対し別途立替えの措置をとらねばならないと思うが
このことについて目下予算編成の過程で検討事項の中に加えられて
いるかどうか、また知事と本問題について話合つたことがあるか、
知事は住民の生活を守る責任があり積極的に考えなければならぬ
と思う知事に対し予算編成の際当委員会委員からこの点要望があつ
たことを伝えてほしい、

井野委員（社）より、補償費の立替えの農民の不安を除くため行
政を掌る知事の当然の責任であると思うがこのことについて委員長
はどう考えるか

について質疑があり、吉田副委員長（自民）より応答、企画本部長より答弁。

② 副委員長より、本日の議事はこの程度にとどめ明日午前十時より
開議することについて諮り、異議なくそのことに決定。



全国都道府県議会議長会

○一月六日 都道府県会館において全国都道府県議会離島振興促進協議会役員会を開催、まず事務局より経過報告があり、ついで運動方針について協議の結果、大蔵省へは三十六年度離島関係予算六十二億円の確保を重点目標として、その他の関係方面へは予算確保、離島振興法の一部改正、離島航路の改善強化、離島へき地における医療施設の整備と従事者の充実確保を内容とする要望書を決定し、最終予算決定まで運動を継続することとした。

○一月十六日 都道府県会館において全国都道府県議会離島振興促進協議会総会を開催、会長より役員会の経過並びに予算の復活要求運動の現況について報告があり、ついで網島離島振興対策審議会会長及び経済企画庁和泉離島振興課長よりそれぞれあいさつ並びに報告があつたのち、今後の運動方針について協議の結果、目標を離島振興法の改正におき、同法案の今国会成立を目的に運動を展開することとした。

○一月十七、十八の両日 都道府県会館において第三十九回定例会を開催、まず自治功労者の表彰を行ない、ついで諸般の報告ののち、安井自治大臣より祝辞があり、ついで次の事項について協議決定し、関係方面に要望することとした。

なお、本定例会において役員改選の結果、会長に東京都議長、副会長に北海道、山形、神奈川、愛知、京都、広島、徳島、鹿児島各道府県議長がそれぞれ選任された。

- 地方自治確立に関する決議
- 地方財政確立に関する決議
- 未開発地域の開発促進に関する決議
- 農地開発改良制度の改訂について
- 開拓事業の推進について
- 低温貯蔵施設の促進について
- 木材業者及び製材業者登録の立法措置について
- 漁業補償制度の確立について
- 引揚記念塔の建設促進について
- 国の直轄河川の常習遊水地帯の対策について
- 準用河川の廢川敷地処分に関する特例法の制定について
- 新生崩壊地復旧事業（緊急治山）に対する特別立法措置について
- 二級国道金沢、岐阜線地系の荒島岳隧道開きく促進について
- 縦貫高速自動車道促進について
- 国道関門トンネルの通行料金の引き下げについて
- 九州縦断道路の二級国道指定方について
- 地籍調査事業の強力推進方について
- 屋外広告物の規制の強化統一について
- 国民体育振興法の制定促進について
- 国立石炭総合研究所の設置について
- 海外移住振興対策の強化について
- 北陸本線の複線電化工事促進について
- 東北本線の複線電化工事の促進について
- 国鉄赤字線の自動車化について
- 青函隧道建設促進について
- 東北地方の駅頭及び埠頭滞貨に対する貨車増配等について
- 国鉄線路の市街地高架化について
- 国鉄運賃の特別料金制度の廃止並びに貨物運賃公共政策割引制度の恒久立

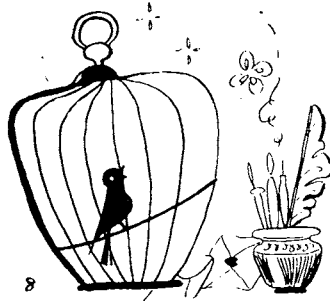
法化について

- 一 交通事故防止について
- 一 九州地方開発公庫の設置について

○一月三十日 都道府県会館において常任幹事会を開催、明三十一日の幹事会に提案する事項について協議したのち、列席の渡海自治省政務次官並びに藤井行政局長より地方公務員の年金制度に関する善後措置について説明を聴取した。

○一月三十一日 都道府県会館において幹事会を開催、全議長より昭和三十六年度予算における地方財政措置の経過について報告があり、ついで次の事項について協議した。

- 一 地方公務員の年金制度に関する善後措置について
- 一 昭和三十六年度全国議長会蔵入蔵出予算案について
- 一 本会定例会の開催順序について
- 一 遊興飲食税の改正に対する要望について
- 一 自治功労者の追加表彰について
- 一 本会副会長の増員等について
- 一 後進地域開発の国庫負担特例措置方要望について





第四回定例道議会の議決を経た条例の公布調べ

件名	議決月日	公布月日 公布番号
北海道職員退職手当暫定措置条例の一部を改正する条例	一一、二八	五、一、四 条例 一
北海道立希望学園設置条例の一部を改正する条例	同	同 同 二
北海道産業教育審議会委員定数条例の一部を改正する条例	同	同 同 三
北海道がん具用煙火及び始発筒取締条例を廃止する条例	同	同 同 四
北海道職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	一一、二一	五、三、三 同 六五
北海道地方警察職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	同	同 同 六六

北海道学校職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	一一、二一	五、三、三 条例 六七
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同 同 六八
北海道議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	同	同 同 六九
北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	同	同 同 七〇
北海道特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	同	同 同 七一
北海道教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	同	同 同 七二
北海道職員に対する昭和三十五年十二月における期末手当の支給に関する条例	同	五、三、一四 同 六二
北海道地方警察職員に対する昭和三十五年十二月における期末手当及び勤勉手当の支給に関する条例	同	同 同 六三
北海道学校職員に対する昭和三十五年十二月における期末手当の支給に関する条例	同	同 同 六四

押印

四

4 正、副二通提出することを要件としたのは、審査の結果知事その他執行機関に送付することを適当とした場合、一部を送付し、一部は議会に保存するため必要とすることであること。

大 臣 ・ 次 官 一 覧

(36. 2 現在)

大 臣 (長官)				政 務 次 官				事 務 次 官			
内閣総理大臣	池田勇人	広島二	古川文吉	大 阪 四	馬場義統						
法 務 大 臣	植木庚子郎	福 井	津島文治	青 森 一	武内竜次						
外 務 大 臣	小坂善太郎	長 野 一	大久保武雄	熊本一	石田 正						
大 蔵 大 臣	水田三喜男	千 葉 三	田中茂穂	参鹿兒島	緒方信一						
文 部 大 臣	荒木萬寿夫	福 岡 三	額結弥三	岐 阜 二	高田正己						
厚 生 大 臣	古井喜実	鳥 取	安藤 覚	神奈川三	小倉武一						
農 林 大 臣	周東英雄	山 口 一	八田貞義	福 島 二	徳永久次						
通商産業大臣	椎名悦三郎	岩 手 二	如原伊平	千 葉 一	山内公猷						
運 輸 大 臣	木暮武太夫	参群馬	砂原 格	香 川 一	加藤桂一						
郵 政 大 臣	小金義照	神奈川三	森山欽司	栃 木 一	亀井 光						
勞 働 大 臣	石田博英	秋 田 一	柴田 栄	参全 国	柴田達夫						
建設大臣	中村梅吉	東 京 五	田村 元	三 重 三	小林与三次						
首都圏整備委員長	安井 謙	参東京	渡海元三郎	兵 庫 三	犬丸 実						
国家公安委員長	小沢佐重喜	岩 手 二	西田信一	参北海道	熊本政晴						
行政管理庁長官	西村直己	静 岡 一	林田正治	参熊 本	今井 久						
北海道開発庁長官	迫水久常	参全 国	白浜仁吉	長 崎 二	小出栄一						
経済企画庁長官	池田正之輔	山 形 二	江藤 智	参全 国	篠原 登						
科学技術庁長官	大平正芳	香 川 二	松本一郎	三 重 一							
内閣官房長官	保岡武久	鹿兒島庵	三 重 一								
内閣官房副長官	細谷喜一	群 馬 一									
総理府総務長官	藤枝泉介										
法制局長官	林 修三										

衆参正副議長・常任委員 長 一 覧

(36. 2 現在)

衆 議 院				参 議 院			
議 長	清瀬一郎	無兵庫四	松野鶴平	自熊 本			
副 議 長	久保田鶴松	無大阪四	平井太郎	自香 川			
内閣委員長	久野忠治	自愛知二	吉江勝保	白 山 梨			
地方行政委員長	浜田幸雄	自高 知	増原恵吉	自愛 媛			
法務委員長	池田清志	自鹿兒島二	松村秀逸	自全 国			
外務委員長	堀内一雄	自山 梨	木内四郎	自長 野			
大蔵委員長	足立篤郎	自静岡三	大竹平八郎	同志全 国			
文教委員長	浜野清吾	自東京五	平林 剛	社全 国			
社会労働委員長	山本猛夫	自岩手一	吉武忠市	自山 口			
農林水産委員長	坂田英一	白石川一	藤野繁雄	自長 崎			
商工委員長	中川俊思	自広島二	剣木享弘	自福 岡			
運輸委員長	三池 信	自佐 賀	三木与三郎	自徳 島			
通信委員長	山手満男	自三重一	鈴木恭一	自全 国			
建設委員長	加藤高蔵	自茨城一	稲浦鹿蔵	自全 国			
議院運営委員長	小平久雄	自栃木二	斎藤 昇	自三 重			
予算委員長	船田 中	自栃木一	館 哲二	自富 山			
決算委員長	荒船清十郎	自埼玉三	佐藤芳男	自新 潟			
懲罰委員長	中村寅太	自福岡一	苫米地英俊	自北海道			
公職選挙法改正に 関する調査特 別委員長	竹山祐太郎	自静岡三					
科学技術振興対 策特別委員長	山口 好一	自栃木二					
国土総合開発特 別委員長	辻 寛一	自愛知一					
事務総長	山崎 高		河野義克				

政党主要幹部一覽

(三六、三現在)

◎自由民主党

○総裁 池田 勇 (広島二)
 ○幹事長 益谷 秀次 (石川二)
 ○総務会長 保田 利茂 (佐賀)
 ○政務調査会長 福田 繁夫 (群馬三)
 ○国会対策委員長 山本 龍夫 (千葉二)
 ○全国組織委員長 今村 新治 (愛媛三)
 ○広報委員長 原 健三郎 (兵庫二)
 ○党紀委員長 郡 祐一 (参次城)

◎日本社会党

○中央執行委員長 河上 丈太郎 (香川一)
 ○書記長 江田 三郎 (参岡山)
 ○統制委員長 猪俣 浩三 (新潟四)
 ○政策審議会長 成 知己 (香川二)
 ○国会対策委員長 山本 幸一 (岐阜二)

◎民主社会党

○中央執行委員長 西 末広 (大阪二)
 ○書記長 曾 禰 益 (参神奈川)
 ○政策審議会長 今 澄三郎 (三重二)
 ○国会対策委員長 田 中 幾郎 (三)

◎参議院同志会

○議員総会議長 杉 昌作 (全)
 ○政務調査部長 森 八一 (全)



一月のメモ

- 3 ○米、キューバと国交断絶。
- 5 ○全道的に猛ぶぶき列車ダイヤ混乱今冬最大の雪害。
- 6 ○暴風雪、羅臼村に大被害七十戸が全半壊。
- 7 ○根室支庁羅臼村に災害救助法を発動。
- 11 ○第七回全労定期大会開催。(東京都)
- 12 ○ア米大統領任期中最後の一般教書を議会に送る。
- 13 ○全道高校長協会臨時総会で「高校生の政治活動は認めない」との申し合せを行なう。
- 14 ○国防会議陸上自衛隊を十三個師に編成替えを決定、本道に四個師。
- 15 ○ビルマ賠償で、外相「無償供与」という名目で四千万ドル増額申入れ。
- 16 ○国連安保理ベルギー非難のA・A三国決議案を否決。
- 17 ○国鉄の運賃値上げ(旅客貨物は一率一二%) 固まる。
- 18 ○皇太子御夫妻、米道三十七年に延期。
- 19 ○大逆事件(明治天皇暗殺) 陸の文書発見。
- 20 ○ア米大統領予算教書を提出。
- 21 ○十勝岳遭難者六日ぶりで生存が発見される。
- 22 ○三十六年度道予算各部要求まとまる、合計六百四十三億円、人件、政策費を含めれば九百億突破。
- 23 ○虻田で畑が陥没、直径十七メートル、深さ十五メートル。
- 24 ○全道高校スキー大会開幕。(旭川)
- 25 ○日ソ漁業交渉、政府の基本方針決まる。(漁獲量八〇九万トン)
- 26 ○三十六年度予算政府案正式決定一兆九百五十七億。
- 27 ○三十六年度道開発予算四七二億余。
- 28 ○ケネディ米大統領就任。
- 29 ○文相、日教組対策で重大発言。(労組認定勧告するならILO脱退せず)
- 30 ○大相撲初場所柏戸初優勝。
- 31 ○日本ブラジルと文化協定調印。
- 32 ○社会党道連臨時大会新委員長に荒氏を選任。

- 25 ○第四十四回芥川賞に三浦哲郎氏。
- 26 ○ソ連領空侵犯のRB四七型機乗員二名を釈放。
- 27 ○池田、インコフソ連漁業担当相会談行なわれる、漁業貿易問題で意見交換。
- 28 ○民社党再建大会委員長に西尾末広氏、書記長曾禰益氏を再選。
- 29 ○積雪寒冷地帯知事会議開く。(東京都)
- 30 ○コング国連当局、日本に派兵持ちかけ。
- 31 ○最後の南極越冬隊決まる、村山隊長ら十六人。
- 32 ○日民党、甘味資源対策特別委員会、砂糖自由化反対の態度を正式決定。
- 33 ○道農林漁業基本問題審議会林務部会本道林業の基本対策についての答申案を決定。
- 34 ○通産省、三十五年度の産業動向を発表、鉱工業伸びは過去十年間最高。
- 35 ○厚生大蔵両省福祉年金事業団の新設を決定、養老施設に低利融資。

昭和三十六年二月二十日発行

北海道議会時報

(第十三卷 第二号)

編集 北海道議会議務局調査課
発行 北海道議会議務局